

---

# 贅の毎日

ほたる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

贄の毎日

### 【Nコード】

N9822Y

### 【作者名】

ほたる

### 【あらすじ】

「贄」となった三人の姫とそれを支える三人の騎士。か弱い姫とルックスバリバリのカッコいい騎士なんて、なんて羨ましい世界。と思いきや、三人の姫はちょっとズレてて、三人の騎士は嫉妬深い性格？

特殊設定の世界で6人が過ごす日々を綴りたいと思います。

初投稿なので見苦しいところもあると思います！また、妄想から生まれた話なのでそういうのがムリ！という方は回れ右でお願いします。

誤字脱字「こうしたほうがいいよ」アドバイス、お待ちしております。亀更新で、見苦しくても読んでくれるという心の広い方待っています！

## プロローグ（前書き）

初めて書いたのもうやりたい放題です。

## ブローグ

とある国があった。とある国には2つの特色があつて、それは他の国にはないものだった。

1つは「贅」となる姫が存在すること。

「贅」と聞くと「捧げもの」とか「犠牲」などのイメージがあると思うが、ここで言う「贅」は少し違う。「贅」とは産まれたときに体に機能しない器官を作られ、本来つくべき筋力がつかないようにされた者たちのことを言う。そんなことをする理由。それは「贅」からとられた器官や力は生まれてくる男子の筋力となるよう役立てるためだ。

贅になる条件は女性であることのみ。

その条件もあつて、その都度決め方はそれぞれだ。酷い例では籤で決めたというときもあった。

今の贅となつている3人の姫は、足と、耳、声を使うことが出来ない。

足を使えないものは車椅子に乗り、喉を使えないものと耳の聞こえないものは話す相手の手を握つて意思伝達をするという風に、暮らしになんら支障はない。

2つ目は、生まれたときから人それぞれに婚約者がいること。

人との相性が合おうが合わまいが関係ない。王の御言葉とか何とか言えば罰があたるだなんだと何も言えなくなるのだ。だが、最初から決まっている相手がいるということ余裕ができたのか、実際国はよく回り男女関係についてのトラブルも聞かない。

この物語はこの世界で「贅」として生きる3人の姫と、それを支える婚約者として生を受けた3人の騎士の日々を綴ったものである。

## プロローグ（後書き）

アドバイスおまちします

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9822y/>

---

贅の毎日

2011年11月29日19時52分発行